※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「美術３」（光村）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰでは、「表現力」と「美意識」を、美術Ⅱでは、「創造性」「独自性」を求めてきました。深めます。美術Ⅲでは、それらの知識や技能をふまえて、より深い表現の世界を追求します。
特に、今後表現者としての世界を構築することをめざしている人にとって、実践的な表現活動の方法とアートマネージメントについての知識を得ることをめざします。
また、表現力を飛躍的に伸ばすことで、創造の可能性を高め、未来の表現領域の拡大に続く成果をあげてゆきます。ひたむきに自己研鑽を続けることによって、あなたの可能性は無限に拡がるはずです。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　対象や事象を捉える造形的な観点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2)　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的にあらわしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え主題を生成し、創造的に発送し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	絵画	【絵画】【鑑賞】 クロッキー 鉛筆デッサン 静物画(精密表現) 自画像(ミニアチュール) 大作に取り組む 色彩計画と配色練習	a:平面表現の造形的視点について、理解を深めている。 b:絵画表現の制作段階に応じて、表現方法を工夫し創造的に制作できているか。 c:各課題において、積極的、主体的に取り組めている。	各課題の制作段階での提出物	各課題の制作段階での提出物	活動の様子 提出作品
Ⅱ	立体表現	【彫刻・デザイン】【鑑賞】 立体構成の表現方法・表現技術・材料のとりあつかいについての研究 立体構成1 材料研究　構造試作 立体構成2 紙による構成 限られた材料による構成 塔の制作 橋の制作 立方体の制作	a:立体作品制作の造形的視点についての理解ができている。 b:独自の発想・構造を工夫し、効果的な表現ができている。 材料の使用方法や制作技術について、創意工夫がされている。 c:各課題において、積極的・主体的に取り組めている。	ラフスケッチ エスキース 提出物の内容	計画段階での評価 完成作品での評価	学習観察 提出物
Ⅲ	鑑賞	【鑑賞】 芸術論購読 表現の多様性 表現の質について 多様な文化芸術についての理解	a:芸術文化の多様性が理解できている。 b:造形的な美しさや表現の意図を理解し、美術文化の見方や感じ方を深めている。 c:購読に主体的に取り組み、効果的な鑑賞ができている。	ワークシート	小論文	意見交換

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用